

令和7年度第2回多野藤岡地域保健医療対策協議会 議事概要

日時 令和7年11月7日（金）

午後7時00分～午後7時42分

場所 藤岡保健福祉事務所 2階会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 部会長選出

構成員の互選により、藤岡市 新井市長を選出。

4 議 事

- 報告事項（資料1～4、6、7）、協議事項（資料5）について、事務局から説明
- 協議事項については、埼玉県北部地域との連携及び藤岡市の公立病院のあり方について、具体的な取組を検討することの合意を得た。
- 意見、質疑については以下のとおり

（地域医療構想アドバイザー）

病院等機能部会での意見を踏まえて、藤岡地域は、人口減少が厳しいが、それぞれの病院が個性的でバランスよく頑張っている地域だと認識している。その中で、藤岡総合病院が人口規模に対してすごく頑張っている病院であるというのは、資料を見ればよくわかる。緊急時の手術数は人口が増えると実施数も増えるが、藤岡地域は人口規模で見るとよく頑張っていると思う。とはいえ、人口減少、働く人が少なくなっていく現実をどう踏まえてこの地域を守り続けていくかというのが大きな問題になっていると思う。

そのために、これをどう大事に育てていくかというところだが、今問題になっている赤字経営というのは、それぞれの病院が悪いのではないということ。今はもう日本中の病院が赤字になっている。そのことだけをとらえてよし悪しをいうのは少し難しいところもあるので、どうやってこの機能を残すのかという方向で考えを進めていくのが必要ではないかと思っている。

埼玉北部地域との人口の行き来ということに関しては、病院という企業体からすると決

して悪い話ばかりではないけれども、これを支える母体としてやっている行政側、藤岡市が全部責任を負うのかというところに関しては、確かに疑問がある。

それは、同じように高崎や前橋と比べても、同じように考えてこれから議論していく必要があるのではと思っている。その中で、県と県医師会と、一緒に議論しながら、より良い答えが見つけられるといいと思っている。この地域は、優れた病院が優れた形で展開していると感心している。

(構成員)

病院等機能部会を通して参加させていただいているが、毎年、1年が終わると、話がまた振り出しに戻っているような感じがする。皆様お忙しい中お集まりいただいている中で、決めることは一つずつ階段を上るような形で決めさせていただきたい。階段を上っていくように、一つ一つ決議みたいな形でやっていただければありがたい。

それと、今日は県の方がたくさんお見えになっているので、将来にわたってお願いしたいのだが、前橋市、高崎市みたいなところは市民病院がないので、市がお金を使わなくていい。ところが、伊勢崎市、桐生市、藤岡市、安中市などの比較的財力が落ちているところは市町村営の病院があり、財政出動している。国立であれば交付金があるけれど、県の方でも支援を考えていただきたい。小さい都市ほど負担が多いというのは不合理だ。

国立沼田病院を閉鎖するという話も出ているぐらいで、藤岡地域の場合、藤岡総合病院がなくなるとんでもないことになる。生きるために必要なものがなくなるわけだから、そうするとますます人口減に拍車がかかり、埼玉県北部にまで迷惑をかけてしまうことになるので、何とかしないといけない。皆様の力で世論を盛り上げて、一つずつ階段上っていくような形で、良い方向に藤岡市の医療を導いていければいいと思っている。

(事務局)

前回の病院等機能部会でも皆様から御意見をいただいて、一步一步進めていきたいと考えている。ぜひ、2つの課題である埼玉県北部地域との連携交渉、藤岡市の公立病院のあり方の検討、この2点について、検討を開始していきたいと考えており、皆様から議決をいただければと考えている。

いろいろ御意見があるかと思うけれども、直ちにここで何かを決める、具体的な北部地域との連携のやり方などそういうものを決めるわけではなく、検討を進めたいということで決をいただければと思っている。

(会長)

皆様から賛同が得られたので、今後、様々な観点からアンケート等を含めながら、皆様方の御意見を積み上げていきたい。

以上